

令和３年度 教職員研修の基本方針

—— 子どもの未来のために ——

子どもたちを取り巻く状況は、生産年齢人口の減少やグローバル化の進展、急速な技術革新、感染症の蔓延等により大きく変化しており、予測困難な社会となっている。このような状況でも、私たち教職員には、子どもが夢に向かって主体的に学び続けたり多様な他者と協働したりして、自らの人生を切り拓くことができるように、資質を高めたり能力を向上させたりすることが求められている。

一方、近年の大量退職、大量採用の影響により、かつてのように先輩から若手への知識・技能の伝承をうまく図ることのできない状況があり、継続的な研修を充実させていく必要がある。また、「教員は学校で育つ」という考えの下、新学習指導要領の完全実施、学校における働き方改革、GIGAスクール構想が推し進められている中、校内研修を一層充実させていくことが求められている。

このような社会の要請に応えるためには、校園長のリーダーシップの下、教職員が一丸となって学校(園)の教育力を高め、子どもや保護者、地域社会からの信頼が得られるよう組織的な学校運営の推進を図っていかなければならない。

そこで、「夢に向かって人生をきり拓くなごやっ子の育成」という基本理念の実現に向けて、名古屋市教員育成指標に位置付けた資質・能力を基に研修体系を整備するとともに、教職員が自ら学ぶ姿勢を持ち続けるために、キャリアステージや職務等に応じた各種研修や校内研修支援を実施し、自主的な研修の促進・補完に寄与するように努める。

令和3年度 育成指標に基づいた研修の重点

教職員の健康に配慮しつつ、学びを保障するための教職員研修を実施する
重要課題：① 新学習指導要領への対応 ② ICT活用への対応 ③ 特別支援教育の充実

1 豊かな人間性や教職に対する使命感を養うための支援（素養）

- ・ 心的ストレスの解消と自らをマネジメントする方法や、ハラスメントに関する正しい知識と適切な対処方法について学ぶことで、自己管理する力や信頼関係を築く力を培う。
(資料1-1・2・3・4 自己管理能力)
- ・ 児童生徒に対する人権や、障害のある子どもへの合理的配慮について学ぶことで、多様性についての理解を深めることができるようにする。
(資料1-1・2・3・4 人権意識の醸成・推進)

2 的確な幼児児童生徒理解力を培うための支援（児童生徒理解）

- ・ 中学校に全校配置されたスクールカウンセラーと連携しOJTによる校内の事例検討会を推進することにより、児童生徒が抱えている様々な課題に対する理解を深めることができるようにする。
(資料1-1・3・4 子ども理解) (資料2-1・3・4 同僚性)
- ・ 障害のある子どもの特性や、個別の対応・支援の在り方について学ぶことで、障害のある子どもへの理解を深めることができるようにする。◎
(資料1-1・3・4 特別支援教育に対する理解)

3 学習指導や集団づくりにおける実践的指導力を高めるための支援

(1) 学習指導

- ・ 各教科におけるICT活用を踏まえた具体的な指導法を学ぶことで、個別最適な学びと協働的な学びを実現するための実践的指導力の向上を図る。◎◎
(資料1-1 授業構成・授業展開・授業評価)
- ・ 特別支援学校・特別支援学級に在籍する知的障害のある子どもに向けた各教科のICTを活用した指導法について学ぶことで、実践的指導力の向上を図る。◎◎
(資料1-1 授業構成・授業展開・授業評価)

(2) 集団経営

- ・ 子どもに対する見方・捉え方を広げる教育相談の在り方や、学校生活アンケートを基にした集団づくりの在り方を、若手教員が中心に学ぶことで、集団づくりにおける実践的指導力を培う。
(資料1-1 経営・生徒指導)

4 専門性に基づいた実践力を高めるための支援（固有の力）

- ・ 多様化する今日的な健康課題に対する対応方法を学ぶことで、養護教諭としての実践力を身に付けることができるようにする。
(資料1-3 心身の健康管理をする力)
- ・ 食に関する具体的な指導方法を学ぶことで、栄養教諭としての実践力を身に付けることができるようにする。
(資料1-4 指導力)

5 組織の一員として学校力を高める力を培うための支援（マネジメント）

- ・ 学校・学年経営、人材育成、配慮を要する子どもの支援体制等について中堅教員が中心に学ぶことで、学校の中核を担う教員として連携・協働する力を培う。
(資料1-1・3・4 同僚性)
- ・ 働き方改革の実現に向けた職場づくりや、教職員の資質能力の向上を図る校内研修の在り方について学ぶことで、学校組織をマネジメントする力を培う。
(資料1-2 学校園経営) (資料1-1・3・4 同僚性)

名古屋市教員育成指標（教諭版）

※ キャリアステージは、自分の教員経験や校内での立場を考慮して自分で選択する。

ステージ 資質能力		名古屋市の求める 着任時の姿	視点	教員としての 基礎を培う 段階 (およそ1～5年目)	教員としての 専門性を高める 段階 (およそ6～10年目)	教員としての 協働性を高める 段階 (およそ11～25年目)	教員として 広い視野で様々な 役割を果たす 段階 (およそ26年目～)	
求められる 資質や能力	素養	教員としての適性を 常に意識しながら、 教職に対する使命 感を高める。	自己管理能力	・服務規律を遵守する、規範意識をもつなどの自己を管理する力				
			人権意識の 醸成	・人権に対する知識や偏見・差別に気付く感覚など、人権を尊重できる意識の醸成				
			学び続ける 意欲	・新たな教育課題を発見・設定し、解決策を探求する意欲				
			コミュニケー ション力	・相手の思いをくみ取り、積極的にコミュニケーションする力				
	児童 生徒 理解力	一人一人の児童生徒 に対して愛情をも って接する意識を高 くもち、児童生徒を 共感的に理解するこ との大切さや合理的 配慮の意義について 実感を伴って理解し ている。	子ども理解	・学級の児童生徒の 家庭環境や交友関 係等の把握と対応	・学級・学年の児童 生徒の家庭環境や 交友関係等の把握 と対応	・学級・学年・学校の児童生徒の家庭環 境や交友関係等の把握と対応		
			子どもと 向き合う姿勢	・どの児童生徒に対しても公平・公正に、愛情をもって接する態度				
			特別支援教育 に対する理解	・配慮を要する児童生徒と学級・学年集団への適切な指導・支援 ・個別的教育支援計画、指導計画の実行に向けた連絡・調整				
	学習 指導力	実践的指導力の基 礎となる知識、技能 を習得し、体験を通 して、授業づくりや授 業の進め方等につい て理解している。	授業構成	・主体的・対話的な授業づくりの推進				
				・ねらいに応じた 授業づくり	・学校教育目標を踏まえた授業づくり			
			授業展開	・ねらいに応じた 学習指導の充実	・ねらいと個に応じた学習指導の充実			
			授業評価	・日々の授業反省を 生かした学習指導の 改善	・単元全体を見通し た学習指導の工夫 改善	・校内外の教員が行う授業に対する適切 な授業分析		
	・校内外の授業 改善に向けた働 き掛け	・校内の授業力向 上に向けた働き掛け						
	集団 経営力	学級・学年単位で の集団づくりの基礎 や、生徒指導の基 礎について具体的に 理解している。	経営	・安心・安全に過 ごせる温かい学級づくり		・安心・安全に過ごせ、互いを認め合う温かい学級・学年づくり		
				・よりよい人間関係づくり、集団づくり		・よりよい人間関係づくり、集団づくりへの 支援		
			生徒指導	・集団に対する社会 性や自己肯定感を 高める指導	・自己肯定感、自尊感情を高める指導 ・予防的・開発的な生徒指導		・生徒指導上の課 題を協働して解決 するための適切な助言	
	マネジ メント力	組織の一員として同 僚や外部（保護 者、地域）との連 携・協働、安心・安 全な学校生活につ いて実感を伴って 理解している。	家庭・地域・ 関係機関 との連携	・家庭・地域・関係機関との適切な情報共 有と共通理解		・家庭・地域・関 係機関との 円滑な連携		・家庭・地域・関係 機関との調整役とし ての貢献
			同僚性	・職場の一員として 共に協力しようとする 意識と行動	・調整役としての学校運営への参画		・教職員間の調整 役としての積極的な 貢献	
					・学年経営への貢献	・学年・学校の 強みを活かした 学校教育目標の 具体化	・若手・ミドルリー ダーの立てた具体策に 対する幅広い見地から の助言	
						・学年・学校運営への参画を意識した適切な意見具申		
			危機管理	・安全配慮義務につ いての理解と迅速な 対応 ・「報告・連絡・相 談」による課題解決	・事故等発生時 の迅速かつ適切な 対応		・事故等発生時の迅速かつ適切かつ 組織的な対応	

名古屋市教員育成指標(管理職版)

ステージ 資質 能力		視点	教頭期	校（園）長期
			学校の経営ビジョンを実現するための 調整力を高める段階	学校園の経営ビジョンを示し、 リーダーシップを発揮する段階
求め られ る 資 質 や 能 力	素 養	自己管理能力	・服務規律を遵守する、メンタルヘルスやハラスメントに関する正しい知識と適切な対処方法をもつなどの自己を管理する力	
		人権教育の推進	・人権に対する深い知識や偏見・差別を認めない姿勢をもって、教職員に指導できる力	
		学び続ける意欲	・新たな教育課題を発見・設定し、解決策を探索する意欲と、多様な学びを啓発できる力	
		人間関係調整力	・相手の思いをくみ取り、教職員や保護者、地域等と積極的にコミュニケーションし、信頼関係を築く力	
	マ ネ ジ メ ン ト 力	学校園 経営	・学校の実状や課題を踏まえた上でのビジョン策定に向けた進言	・学校の実状や課題を分析・把握し、将来を見据えたビジョンの策定
			・ビジョンの実現に向けた、校務の効率化	・ビジョンの実現に向けた、校務の効率化
			・社会に開かれた教育課程の編成に関わる進言	・社会に開かれた教育課程の編成・管理
			・特別支援教育の推進に向けた体制づくりと環境整備	・ビジョンの実現に向けた特別支援教育の推進
			・学校園経営の効果や課題についての検証・改善に関わる進言	・学校園経営の検証を受けた次年度以降の方向性の確立
			・教職員の心身の健康状態の把握と多忙化解消に向けた働き掛け	・教職員の多忙化解消に向けたビジョンの明確化
			・法令や事例等を基にした適切な労務管理	・法令や事例等を熟知した上での適切な労務管理
		人材育成	・全職員の勤務状況を把握し、個々の職員の適正や能力に合わせた指導助言	・個々の適正や能力に応じた分掌の配置
			・若手、ミドル、ベテランをつなぐ OJT の推進	・教職員評価に基づく職場環境の活性化
		家庭・地域・ 関係機関 との連携	・家庭や地域、関係機関等からの情報収集・分析と適切な対応・交渉	
			・開かれた学校を意識した、保護者や地域に向けての学校園経営に関する情報の発信	・ビジョンとその実現に向けた方策の明確な説明
			・就学指導における適切な対応	・学校園経営に関する情報の発信に向けた指導助言
		財務管理	・教職員と連携した施設・設備の充実と安全管理	・施設・設備の充実と安全管理に対する指導助言
			・事務職員と連携した公金の適正管理、諸帳簿等の整理	・公金管理、諸帳簿整理に対する指導助言
		危機管理	・健康課題の解決に向けた協力体制づくり	・健康課題の解決に向けたビジョンの明確化
			・防災や学校安全に関する法令や事例、マニュアル等を基にした適切な危機管理	・防災や学校安全に関する法令や事例、マニュアル等を熟知した上での適切な危機管理
			・生徒指導上の問題に対する適切で迅速な連絡調整	・生徒指導上の問題に対する適切で迅速な判断

※ キャリアステージは、自分の教員経験や校内での立場を考慮して自分で選択する。

ステージ 資質能力		名古屋市の求める 着任時の姿	視点	教員としての 基礎を培う 段階 (およそ1～5年目)	教員としての 専門性を高める 段階 (およそ6～10年目)	教員としての 協働性を高める 段階 (およそ11～25年目)	教員として 広い視野で様々 な役割を果たす 段階 (およそ26年目～)
求められる 資質や能力	素養	教員としての適性を常に意識しながら、教職に対する使命感を高める。	自己管理能力	・服務規律を遵守する、規範意識をもつなどの自己を管理する力			
			人権意識の醸成	・人権に対する知識や偏見・差別に気付く感覚など、人権を尊重できる意識の醸成			
			学び続ける意欲	・新たな教育課題を発見・設定し、解決策を探索する意欲			
			コミュニケーション力	・相手の思いをくみ取り、積極的にコミュニケーションする力			
	児童生徒理解力	一人一人の児童生徒に対して愛情をもって接する意識を高くもち、児童生徒を共感的に理解することの大切さや合理的配慮の意義について実感を伴って理解している。	子ども理解	・児童生徒の発達上の課題や心身の健康状態などの把握と対応 ・児童生徒の理解を深める校内での情報共有の場づくり			
			子どもと向き合う姿勢	・どの児童生徒に対しても公平・公正に、愛情をもって接する態度			
			特別支援教育に対する理解	・配慮を要する児童生徒への適切な指導・支援 ・全教員の個別的教育支援計画、指導計画の策定への協力			
	養護教諭固有の力	保健教育	指導力	・健康課題を捉え保健指導計画の作成への参画 ・学習指導要領の内容の理解 ・学習指導案の形式の理解と立案	・健康課題を捉え、保健指導計画の作成と実践 ・ねらいに応じた授業づくり	・保健教育におけるコーディネーターの役割 ・実践に基づく評価と改善	・社会に開かれた教育課程の中での保健教育の位置付けに向けた働き掛け ・保健教育の実践への指導助言
				・健康課題を捉え、保健指導計画の作成と実践 ・ねらいに応じた授業づくり		・保健教育におけるコーディネーターの役割 ・実践に基づく評価と改善	・社会に開かれた教育課程の中での保健教育の位置付けに向けた働き掛け ・保健教育の実践への指導助言
		健康相談	健康課題への対応力	・早期発見、早期対応に向けた心身の健康課題の把握 ・健康相談のプロセスの理解と対応		・健康相談におけるコーディネーターの役割	・教職員が行う健康相談に対しての助言 ・関係諸機関を含めた支援体制づくり
		保健管理	心身の健康管理をする力	・けがや疾病に対しての的確な判断と迅速な対応		・けがの防止や疾病予防の組織的な推進	
				・健康診断や健康観察の結果に基づく、健康課題への対応	・保健管理の充実に向け、校内での中心的役割	・保健管理の充実に向け、関係諸機関との協力体制の確立	
		保健室経営	経営力	・保健室経営計画の作成と校内での共通理解	・学校保健活動のセンター的役割を果たす保健室経営の工夫と改善		・保健室経営の立場からの学校運営への参画
		保健組織活動	連携・協働する力	・保健主事とともに保健組織活動の計画、実施	・保健組織活動を主体的に計画、実施	・保健組織活動への教職員の主体的な参加に向けた働き掛け	・地域レベルでの保健組織活動の推進
	マネジメント力	組織の一員として同僚や外部（家庭、地域）との連携・協働、安全・安心な学校生活について実感を伴って理解している。	家庭・地域・関係機関との連携	・家庭・地域・関係機関との適切な情報共有と共通理解		・家庭・地域・関係機関との円滑な連携	・家庭・地域・関係機関との調整役としての貢献
			同僚性	・職場の一員として共に協力しようとする意識と行動	・調整役としての学校運営への参画		・教職員間の調整役としての積極的な貢献
					・養護教諭の専門性や保健室の機能を活かした学校教育目標の具体化		・若手やミドルリーダーの立てた具体策に対する幅広い見地からの助言
					・学校運営への参画を意識した管理職への意見具申		
			危機管理	・安全配慮義務についての理解と迅速な対応 ・「報告・連絡・相談」による課題解決	・問題行動・事故等発生時の迅速かつ適切な対応	・問題行動・事故等発生時の迅速かつ適切かつ組織的な対応	

※ キャリアステージは、自分の教員経験や校内での立場を考慮して自分で選択する。

ステージ 資質能力		名古屋市の求める 着任時の姿	視点	教員としての 基礎を培う 段階 (およそ1～5年目)	教員としての 専門性を高める 段階 (およそ6～10年目)	教員としての 協働性を高める 段階 (およそ11～25年目)	教員として 広い視野で様々 な役割を果たす 段階 (およそ26年目～)	
求 め ら れ る 資 質 や 能 力	素養	教員としての適性を常に意識しながら、教職に対する使命感を高める。	自己管理能力	・服務規律を遵守する、規範意識をもつなどの自己を管理する力				
			人権意識の醸成	・人権に対する知識や偏見・差別に気付く感覚など、人権を尊重できる意識の醸成				
			学び続ける意欲	・新たな教育課題を発見・設定し、解決策を探索する意欲				
			コミュニケーション力	・相手の思いをくみ取り、積極的にコミュニケーションする力				
	児童生徒理解力	一人一人の児童生徒に対して愛情をもって接する意識を高くもち、児童生徒を共感的に理解することの大切さや合理的配慮の意義について理解している。	子ども理解	・児童生徒の健康状態などの把握と対応 ・児童生徒の理解を深める校内での情報共有の場づくり				
			子どもと向き合う姿勢	・どの児童生徒に対しても公平・公正に、愛情をもって接する態度				
			特別支援教育に対する理解	・配慮を要する児童生徒への適切な指導・支援				
	栄養教諭固有の力	食に関する指導	食に関する指導の推進における栄養教諭の役割及び学校組織・運営、校務分掌を理解し、栄養教諭の専門性を活かした指導をしようとしている。	指導力	・食に関する指導計画の立案と実践及び評価、改善			
					・教職員と連携を図った食に関する指導の実践		・食に関する指導体制の整備	・地域性を生かした食育の計画や推進への主体的な関わり
					・児童生徒の実態を踏まえた授業づくり ・学校給食を活用した指導内容の充実		・食に関する指導に対する適切な授業分析	
				健康課題への対応力	・教職員と連携を図った児童生徒の食に関する健康課題などについての個別的な相談指導（食物アレルギー・偏食・肥満・疾病等）の実践		・学校医等と連携するなどの相談指導体制の整備と児童生徒の食に関する健康課題などについての適切な対応	
		給食管理	学校給食の管理における栄養教諭の役割及び学校組織・運営、校務分掌を理解し、栄養教諭の専門性を活かした実践をしようとしている。	栄養管理能力	・学校給食栄養摂取基準に基づいた食品構成に考慮した献立の作成		・給食管理と食に関する指導を一体化した視点での献立作成 ・児童生徒の成長の特性や地域の実態などに基づいた適切な栄養管理	・学校給食における献立作成や調理、配食及び施設設備に関する全市的視野での指導的役割 ・食に関する指導に生かすための情報を全教職員に提供、助言
					・学校給食の調理、配食及び施設設備に関する指導助言			
				衛生管理能力	・名古屋市「学校給食における衛生管理と安全の手びき」に基づいた、調理従事者の衛生、施設設備の衛生、及び食品衛生の適性を期するための日常点検の実施及び助言		・衛生管理についての日常的な評価、改善、及び、学級における衛生管理への適切な指導助言	・衛生管理に関する全市的視野での指導助言
		マネジメント力	組織の一員として同僚や外部（家庭、地域）との連携・協働、安全・安心な学校生活について実感を伴って理解している。	家庭・地域・関係機関との連携	・家庭・地域・関係機関との適切な情報共有と共通理解		・家庭・地域・関係機関との円滑な連携	・家庭・地域・関係機関との調整役としての貢献
				同僚性	・職場の一員として共に協力しようとする意識と行動	・調整役としての学校運営への参画		・教職員間の調整役としての積極的な貢献
						・栄養教諭の専門性や保健室の機能を活かした学校教育目標の具体化		・若手やミドルリーダーの立てた具体策に対する幅広い見地からの助言
						・学校運営への参画を意識した管理職への意見具申		
	危機管理			・安全配慮義務についての理解と迅速な対応 ・「報告・連絡・相談」による課題解決	・事故等発生時の迅速かつ適切な対応	・事故等発生時の迅速かつ適切かつ組織的な対応		

教員のキャリアステージに応じた研修体系(教諭版)

						キャリアステージ (自分の経験や校内での立場を考慮して自分で選択する)			
素養	児童理解力	生徒指導力	学習指導力	集団経営力	マネジメント力	教員としての基礎を培う段階 (およそ1～5年目)	教員としての専門性を高める段階 (およそ6～10年目)	教員としての協働性を高める段階 (およそ11～25年目)	教員として広い視野で様々な役割を果たす段階 (およそ26年目～)
						◎初任研	◎5年研	◎10年研	
求められる資質や能力	●	●	★	●	●	◎初任研			
		●		●		・生徒指導研修会 ・教育相談研修会			
			★		●	・情報教育担当者研修会			
		●			●	・特別支援教育コーディネーター研修会			
	●	●	●	●		・特別支援学校・特別支援学級・通級指導教室新規担当教員研修会			
	●	●	●			・特別支援学校・特別支援学級・通級指導教室教員研修会			
		●	●			・幼稚園教育研修会 (幼児教育支援室が実施)			
	●					・人権教育担当教員研修会			
			★			・アイデアいっぱい! 楽しい授業づくり講座 ・コンピュータ講座 [C II]			
			★		●	・コンピュータ講座 [C I]			
			●			・高等学校学びの変革研修			
		●	●	●		・高等学校各科研修講座 ・高等学校探究セミナー			
	●	●	●	●	●	・ミドルリーダー研修			
		●				・OJTで進める教育相談講座			
		●		●		・若手教員のための学級集団づくり講座			
		●		●		・教育相談基礎講座			
		●		●	●	・教育相談発展講座 (教育相談基礎講座を修了した者)			
			★			・特別支援学校・特別支援学級指導法講座			
		●				・個別の指導・支援推進講座			
		●				・発達障害のある子どもの理解と支援講座			
		●		●	●	・特別支援教育推進講座			
	●	●	●		●	・日本語指導を必要とする児童生徒指導法講座			
		●	●	●		・幼年教育研修講座 (幼児教育支援室が実施)			
		●	●	●	●	・特別支援教育専門研修			
	●		●		●	・教育研究員			
	●				●	・長期社会体験研修			
					●	・生涯学習研修			
	●		●		●	・若手教員海外派遣研修			
		●	●	●	●	・教職大学院派遣研修 (5年目～)			
		●	●			・教師力フォローアップ			
	●	●	●	●	●	・教員免許状更新講習 (更新対象者のみ)			

★はICTに関わる研修

教員のキャリアステージに応じた研修体系(管理職版)

			キャリアステージ（自分の経験や校内での立場を考慮して自分で選択する）	
求められる 資質や能力	素 養	マ ネ ジ メ ン ト カ	教頭期	校（園）長期
			学校の経営ビジョンを実現するための 調整力を高める段階	学校園の経営ビジョンを示し、 リーダーシップを発揮する段階
	●	●	◎新任教頭研修 ◎2年目教頭研修	◎新任校（園）長研修 ◎2年目校（園）長研修
		●	・教頭研修会	・校（園）長研修会
	●		・管理監督者のためのメンタルヘルス研修(教頭)	・管理監督者のためのメンタルヘルス研修(校長)
	●		・人権教育研修会	

教員のキャリアステージに応じた研修体系(養護教諭版)

					キャリアステージ (自分の経験や校内での立場を考慮して自分で選択する)			
求められる 資質や能力	素養	児童理解力	養護の教諭	マネジメント力	養護教諭としての基礎を培う段階 (およそ1～5年目)	養護教諭としての専門性を高める段階 (およそ6～10年目)	養護教諭としての協働性を高める段階 (およそ11～25年目)	養護教諭として広い視野で様々な役割を果たす段階 (およそ26年目～)
	●	●	★	●	◎新採養護研 ◎養護5年研 ◎養護10年研			
		●			・教育相談研修会			
		●		●	・特別支援教育コーディネーター研修会			
	●				・人権教育研修会			
			★		・アイデアいっぱい!楽しい授業づくり講座 ・コンピュータ講座 [CⅡ]			
			★	●	・コンピュータ講座 [CⅠ]			
		●	●		・高等学校各科研修講座			
	●	●	●	●	・ミドルリーダー研修			
		●			・OJTで進める教育相談講座			
		●	●		・教育相談基礎講座			
		●	●	●	・教育相談発展講座 (教育相談基礎講座を修了した者)			
		●	★		・特別支援学校・特別支援学級指導法講座			
		●	●		・発達障害のある子どもの理解と支援講座			
		●	●	●	・特別支援教育推進講座			
		●	●	●	・学校保健研修講座			
	●		●	●	・教育研究員			
	●			●	・長期社会体験研修			
	●		●	●	・若手教員海外派遣研修			
		●	●	●	・教職大学院派遣研修 (5年目～)			
	●	●	●	●	・教員免許状更新講習 (更新対象者のみ)			

★はICTに関わる研修

教員のキャリアステージに応じた研修体系(栄養教諭版)

					キャリアステージ (自分の経験や校内での立場を考慮して自分で選択する)			
求める 資 質 や 能 力	素 養	児 童 理 解 力	固 有 の 教 諭 力	マ ネ ジ ン グ 力	栄養教諭としての基礎 を培う段階 (およそ1～5年目)	栄養教諭としての専門 性を高める段階 (およそ6～10年目)	栄養教諭としての協働 性を高める段階 (およそ11～25年目)	栄養教諭として広い視 野で様々な役割を果た す段階 (およそ26年目 ～)
	●	●	★	●	◎新採栄養研	◎栄養5年研	◎栄養10年研	
			●	●	・栄養教員・学校栄養職員研修会			
	●				・人権教育研修会			
			★		・アイデアいっぱい!楽しい授業づくり講座 ・コンピュータ講座 [CⅡ]			
			★	●	・コンピュータ講座 [CⅠ]			
	●	●	●	●	・ミドルリーダー研修			
		●			・教育相談基礎講座			
		●		●	・教育相談発展講座 (教育相談基礎講座を修了した者)			
		●	★		・特別支援学校・特別支援学級指導法講座			
		●	●		・発達障害のある子どもの理解と支援講座			
	●		●	●	・教育研究員			
	●			●	・長期社会体験研修			
	●		●	●	・若手教員海外派遣研修			
	●	●	●	●	・教員免許状更新講習 (更新対象者のみ)			

★はICTに関わる研修

教員の I C T 活用に向けたロードマップ

月	学校での研修(全員)	教育センターでの研修	先行導入校での研修
4	・情報教育担当者による研修 ・授業公開参加者による研修 通年にわたる研修	・情報機器等の運用・管理講座(教頭)	・授業公開
5		・情報教育担当者研修会(教務主任・情報教育担当者) ・初任者研修、5年目研修、10年目研修	
6		・初任者研修 ・日本語指導を必要とする児童生徒指導法講座 (日本語教育適応学級担当教員とそれ以外の希望者)	
7		・日本語指導を必要とする児童生徒指導法講座 (日本語教育適応学級担当教員とそれ以外の希望者) ・コンピュータ講座(希望者)	
8		・初任者研修、5年目研修、10年目研修 ・アイデアいっぱい!楽しい授業づくり講座(希望者) ・特別支援学校・特別支援学級指導法講座(希望者) ・コンピュータ講座(希望者)	
9		・初任者研修	
10		・初任者研修、5年目研修	
11 ~		・日本語指導を必要とする児童生徒指導法講座 (日本語教育適応学級担当教員とそれ以外の希望者) ・10年目研修	

・タブレット上のWeb配信型マニュアルによる自主研修
・指導主事、指導員、ICT支援員による研修
・センター研修参加者による研修

※参加者は、原則、同一区、同一校種に参加
※各校2人以内の参加

ICTを活用した学習指導力を高める研修

活用能力	研 修 名				先行導入校（36校）
	悉皆研修			応募研修	校内研修
ICT機器の取扱	【情報教育担当者研修会】 ・タブレットの基本的な操作やソフトウェアの使い方等（講義）			【情報機器等の運用・管理講座】 ・タブレットの基本的な操作やソフトウェアの使い方等（講義）	【コンピュータ講座】 ・タブレットの基本的な操作やソフトウェアの使い方等（講義、演習）
学習指導	【初任者研修】	【5年目研修】	【10年目研修】	【ユニット・オーダー研修】 ・ICTを活用した個別、協働学習等の方法（講義）	【ユニット・オーダー研修】 ・ICTを活用した個別、協働学習等の方法（講義）
	・ICTを活用した1時間における教科等の学習方法（講義、協議、演習）	・ICTを活用した単元全体における教科等の学習方法（講義、協議、演習）	・ICTを活用した自身の課題解決に向けた教科等の学習方法（講義、協議、演習）	【アイデアいっぱい！楽しい授業づくり講座】 【特別支援学校、特別支援学級指導法講座】 【日本語指導を必要とする児童生徒指導法講座】 ・ICTを活用した指導事例（講義、協議、演習） 【コンピュータ講座】 ・個別、協働学習ソフトを活用した授業の進め方（講義、演習） ・小学校プログラミング教育を取り入れた指導事例や授業の進め方（講義、演習）	【ユニット・オーダー研修】 ・ICTを活用した個別、協働学習等の方法（講義） ・学校の要望に応じたICTを活用した教科等の学習方法（講義、演習）
情報モラル・情報セキュリティ	【初任者研修】 ・個人情報の書き込みへの配慮やSNSの正しい扱い方（講義）	【5年目研修】 ・個人情報の管理(人権意識)への配慮（講義）	【10年目研修】 ・情報社会に参画する子どもを育てる上で必要なこと（講義） ・ICT機器を正しく使用するために必要なこと（講義）	【コンピュータ講座】 ・情報モラル（著作権、情報漏洩、パスワード、健康への影響等）指導の進め方（講義） ・情報セキュリティ（SNSへの書き込み、個人情報の管理、ネットオークション等）への配慮（講義）	【ユニット・オーダー研修】 ・情報モラル（著作権、情報漏洩、パスワード、健康への影響等）指導の進め方（講義） ・情報セキュリティ（SNSへの書き込み、個人情報の管理、ネットオークション等）への配慮（講義）

※受講者は指導者用タブレットを持参してセンターで研修を行う。 ※ユニット、オーダー研修とは、指導主事や指導員、ICT支援員が各校で行う研修である。